



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：世界とともにワイズメン(Y's Men with the World) キム・サンチェ(韓国)
アジア太平洋地域会長主題：100年を越えて変革しよう 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事主題：私たちは次の世代のために何ができるか？ 大久保知宏(宇都宮)
あずさ部長主題：道を拓く～愛と協力によって 長谷川あや子 (東京八王子)
甲府クラブ会長主題：ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進！ 石川 和弘

甲府ワイズメンズクラブ

2021年 7月会報

●今月の強調目標

キックオフ / Change!2022/PR

■ 今月のことば ■

欲は命のエネルギー、過ぎれば貪欲、火傷する。小欲、知足で健やかに。

石川 和弘 選

今月の例会案内 あずさ部長公式訪問

日時：2021年7月13日(火) 18:45～20:00
会場：山梨YMCAグローバルコミュニティセンター
担当：役員会
司会：廣瀬静男 書記
※食事はありません

プログラム

- ・開会点鐘 標 克明 直前会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条
- ・会長引継ぎ・バッジ交換
- ・新会長挨拶・ゲスト紹介 石川和弘 会長
- ・部長挨拶 長谷川あや子 あずさ部部長
- ・今月のことば 石川和弘 会長
- ・定期総会
 - 【第1部】 議長 標 克明 直前会長
事業報告・会計報告・監査報告
基金会計報告・褒賞
 - 【第2部】 議長 石川 和弘 会長
新年度事業計画・予算案
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 石川 和弘 会長

6月のデータ

会員数 33名(広義会員1名)
例会出席 17名
ゲスト 1名(大澤祥子様)
出席率 53 %
ドライバーファンド 4,876円

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

ワイズ魂を堅持し、情熱を持って前進！

会長 石川 和弘



ワイズメンズクラブの新事業年度の月となりました。全員、心を新たに未来を創る青少年のため、とにもかくにも前進、努力しよう。直前会長として活躍いただいた標克明さんの後継として、私も微力ながら頑張る覚悟です。

さて、私自身は過去に35代(1984～85年度)の会長を務め、もう自分の出番はないと思っていましたが、クラブの諸事情で再登板となりました。また、よろしく願いいたします。

甲府クラブとしては、山梨YMCAの新会館も完成し、クラブ70周年を祝い、一段落かと安心しましたが、時の経過は世の無常を引き起こします。クラブの有力メンバーの死を迎えてしまいました。山梨YMCA総主事として長い年月ご活躍の大澤英二兄、また理事長を務めていただいた布能寿英兄、共に汗を流した武田信男兄、石川博兄と短い間に相次いでご逝去されました。誠に痛恨の極みです。しかし、我々は心を新たに時節の移り変わりに対応して行かねばなりません。

幸い甲府クラブには優秀なる人材が豊富に揃っていますので、引き続きあずさ部、東日本区でも活躍できると思います。

今年度のクラブ目標として、特に毎例会で唱える、ワイズの信条の中の、「世界的視野を持って国際親善をはかろう」と「会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう」の二カ条を特に心して、クラブ運営を実施していくつもりです。今後、諸々よろしく願いいたします。

6 月 例 会 報 告

2020-21年度最後の例会は、6月8日(火)山梨YMCA グローバルコミュニティセンターにおいて、定刻通り開催された。司会はピーター・マウントフォード会員、標克明会長の挨拶では、コロナに振り回されワイズ活動もままならない2年間であったが、会員、役員との協力で乗り越えたことへの感謝と次年度への期待が述べられた。

ワイズソング、ワイズの信条を各自黙唱・黙読した後、



「今月の言葉」は秋山仁博会員が、「身が美しいと書いてマナーと呼ぼう」と

いう、秋山会員が日常心掛けていることを言葉として表現された。今回もディナーなしで、さっそくメインのプログラム「各委員会報告」が行われた。

- 会員増強委員会(仙洞田安宏委員長)
- 地域奉仕委員会(秋山仁博委員長)
- 国際・交流委員会(ピーター・マウントフォード委員長)
- プリテン委員会(丹後佳代委員長)
- クラブサービス・プログラム委員会(北条繁寿委員長 欠席のため、標会長代読)

(それぞれの内容については、事業報告書を参照)

その後、ハッピーバースデーを祝し、短時間で閉会点鐘となった。出席者:メン17名、ゲスト1名:大澤祥子さん (仙洞田安宏)

★ ニコニコメッセージから ★

★ 例会に出席できて感謝、標会長2年間ご苦労様でした。役員の方さまご苦労様でした。遠藤、済本、二子石ワイズの退会を知り、とても残念。(大澤祥子)

★ 最近のコロナと梅雨にて、体調が調子よくありません。一日も早く、通常例会で会員との会食を楽しみたいと思います。(秋山仁博)

★ 最近の誕生日には誰も祝ってくれません。そんな中、ワイズは会員全員で祝って戴き感謝です。ますます頑張って生きて行くつもりです。(石川和弘)

★ 標会長、2年間お疲れ様でした。「まさかの時代」の一日も早い終息を願っています。(金丸さぶろう)

★ コロナのために計画したことが出来ませんでした。会長の標様はじめ役員の方さまありがとうございました。早くコロナが終息してまた活動が活発になるよう祈っています。(田草川すみ江)

★ 暑くなってきましたね。まだまだコロナがおさまらず残念です。早くおさまることを祈るばかりです。(丹後佳代)

★ 遠藤順彦さん、済本文雄さん、二子石宣秀さんの3氏が退会され、誠に残念です。3氏はそれぞれの時代で活躍された方でした。3氏の今後のご健勝を祈っています。(渡辺徳之)

6 月 役 員 会 報 告

◎6月22日(火) 18:30～ 山梨YMCAにて

◎出席者:標、渡辺、荒川、廣瀬、マウントフォード、仙洞田、丹後、石川(和)、小倉、田中、田草川

【報告事項】

▽6月例会について:左欄例会報告参照

▽第24回東日本区大会について:3ページ報告参照

【協議事項】

▽7月例会について:山梨YMCAで開催、食事なし、部長公式訪問がある。プログラム等決定

▽今年度の事業報告、クラブ褒賞を確認した。

▽次年度の事業計画の確認、プリテン委員会より「巻頭言」の執筆者等の提案があった。

▽「事業報告書」「事業計画書」の印刷について、7月9日(金)にYMCAで、印刷及び製本作業を行う。

▽あずさ部評議会について:7月17日(土)ハイブリッドで開催予定、出席者の確認をした。

第24回東日本区大会報告

小倉 恵一

6月12日に甲府市湯村温泉郷「常磐ホテル」で開催された区大会にお声がけ頂きメネットとリアル出席しました。今回は新型コロナウイルス禍のためリモート・オンライン(Zoomウェルビナー)中心のハイブリッド形式で行われ、会場参加31名・リモート参加175ヶ所との報告があり参加総人数は不明ですが、西日本区や海外からも多くの方が参加された大会でした。内容も区大会の楽しみである記念講演や晩餐会等がないのは残念でしたが、対面による理事就任引継式以外は来賓祝辞や部長報告等々リモートや事前録画映像を活用して、工夫された3時間15分(予定より15分延長)の大会でした。

総合司会:米長晴信(区国際交流事業主任・甲府21)、同時通訳:利根川恵子(アジア太平洋地域書記・川越)で進行し、開会式の来賓祝辞では樋口雄一甲府市長(VTR映像)による地元観光アピールも発信されました。メモリアルアワー(VTR映像)も丁寧に編集されており、当クラブの故大澤英二メン・故武田信男メンを始め在りし日の故人を穏やかに偲ぶひと時でした。

東日本区アワー I (事業報告&表彰)は小山久恵区書記の進行で、理事報告に続き各部長報告・事業主任報告と表彰等がリモートで資料映像を基に行われま



【樋口雄一甲府市長の祝辞】

した。コロナ禍でも可能なアクティビティにチャレンジした多くの報告に力づけられました。

東日本区アワーⅡ(理事就任式&引継式)は栗本治郎(元理事・熱海)の進行により、David Luaアジア太平洋地域会長(シンガポールからリモート)の司式で大久保知宏理事(宇都宮)が就任しました。新理事の主題は「私たちは次の世代のために何ができるか?」です。

閉会式では甲府21クラブから宇都宮クラブへ区大会バナーが引継がれて、第25回区大会のアピール映像と今年8月に台南で開催される「第29回アジア太平洋地域大会」のアピール映像も発信されました。特にIBC台南クラブの蘇(スー)メンが台湾区理事なので本来なら甲府クラブからも大勢で参加するところですが、コロナ禍のため8月14日14:00からのZOOM参加になります。甲府の地から強力に応援しましょう。

ホストクラブ荻野実行委員長の感謝・御礼、YMCAの歌、板村理事の閉会点鐘で無事終了しました。初めてのハイブリッド形式で異例づくめの今大会で、役員の皆様やホストされた甲府21クラブの皆様のご尽力に感謝申し上げますと共に、やはり次回には講演会や晩餐会等でリアルに五感で交歓できる大会になる事をお祈りして、報告とさせていただきます。甲府クラブ参加者:小倉・同メネット・仙洞田(以上会場)・廣瀬(リモート)



【大久保知宏新理事就任式】

〈甲府クラブの表彰〉

- ・CS、ASF、FF、BF、TOF、RBM、YESの各献金達成賞
- ・BF使用済み切手収集協力賞
- ・新入会員獲得努力賞(2名)



談話室

人生100年時代は、本当に喜ばしいことか。 田中 克男

ちょっと天の邪鬼なタイトルですが、私は生来より、それ本当ですか?と疑問に思うタイプに属する人間だと思っています。そこで、近頃人生100年時代をよく耳にしますが、これ本当?と思い現状100歳何人いるのかな?幸せに余生を送れているのかな?などと思い調べてみました。

私が幼少の頃、敬老の日の新聞で、100歳以上の方が知事さんからお祝いの金一封をもらい歓談している写真を見て、祖父に100歳まで長生きして知事さんから金一封もらってね、などと言っていたのを思い出します。それくらい100歳以上は稀な存在でした。現在平均寿命は、この57年間(1963年:男67歳、女72歳→2020年:男81歳、女87歳)で20%延びています。

平均寿命の延びに比例して100歳以上の方が何人存命なのか、毎年厚生労働省が調査している人口統計で確認してみました。直近の2020年9月時点の100歳以上は、全国で8万450人、男女の内訳は、女性が88.2%を占め圧倒的に長生きでした。

では統計開始の1963年9月時点では、何人だと思えますか?なんと100歳以上は153人しかいませんでした。この増加するペースは想像を超えた数字でした。世界の最高齢は福岡在住の女性117歳でギネスに公式認定されています。この方にマスコミが、おめでとうのインタビューをしていましたが、私は本当なのかと疑問に思いました。

これだけ長生きすると自身の子供もしくは孫を看取る事態が発生する可能性大になるからです。自分の事と考えると、晩年にこんな悲しい事はないと思うからです。しかし、こんな心配も長く生きて行く人生のご褒美として、ボケて行くことが穏やかに過ごせるように自然となっているのかもしれない。

最後に、大喜利テーマ「18歳と81歳の違い」の回答例が、言い得て妙なので紹介します。

- ✓道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳
- ✓心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳
- ✓恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳
- ✓恋で胸を詰まらせるのが18歳、餅で喉を詰まらせるのが81歳
- ✓朝起きられないのが18歳、朝起きてこないのが81歳
- ✓まだ何も知らないのが18歳、もう何も覚えていないのが81歳
- ✓東京オリンピックに出たいと思うのが18歳、東京オリンピックまで生きていたいと思うのが81歳
- ✓自分探しの旅をしているのが18歳、出かけたままわからなくなって皆が探しているのが81歳

他にも紹介しきれないほどありますが、これくらいにして、この続きは機会があれば卓話でもお話ししたいと思います。

山梨 YMCA 会員総会・75周年に出席して

田草川 すみ江

6月26日(土)、山梨YMCAグローバルコミュニティーセンターに於いて会員総会及び75周年記念式典が行われました。コロナの関係で会場には約60名の出席者、後はリモートでの参加でした。予定通り議事の進行が行われ満場一致にて議事は可決されました。野々垣新理事長の「YMCAの力の源は山梨YMCA・山梨英和学院・教会・ワイズメンズクラブの繋がりによるYMCAが強くなる。その根源はC(キリスト教)である」との挨拶は印象的でした。

露木総主事の「YMCAたより」と重なる部分があり内容については省きますが、神様を中心とした暖かいものが流れ、さすがに山梨YMCA…と。涙をぬぐう事が出来ませんでした。昨年天に召された大澤英二前理事長も天国にて目を細めて見守って下さった事と思います。これからも山梨YMCAの働きが地域に根差し、あちらこちらに広がりますよう祈らずにはられません。甲府クラブ出席者:小倉・金丸・標・鈴木・田草川



これからの行事予定

- 7月10日(土) 東日本区役員会(Zoom)
- 7月10日(土) 前期半年報期限(部長宛)
- 7月13日(火) 7月キックオフ例会 18:45(山梨YMCA)
- 7月17日(土) 第1回あずさ部評議会(ハイブリッド)
- 8月10日(火) 8月納涼例会
- 8月14日(土) 第29回アジア太平洋地域大会(Zoom)
- 8月15日(日) 前期区費納期
- 8月24日(火) クラブ役員会(山梨YMCA)

7月アニバーサリー

田中克男・千里 夫妻 (21日)

7月 ハッピーバースデー

メネット(パートナー)

内田和俊(丹後)(4日) 露木 由美 (21日)
神山奈緒子 (24日)



一年遅れの献堂式、 そして創立75周年のお祝い

山梨YMCA 総主事 露木淳司

一年遅れの新会館の献堂式が、6月26日(土)、山梨YMCA3階ホール「ベテル」にて、創立75周年記念式典と併せて挙行されました。午前中は会員総会で、昨年一年の事業報告、会計報告をご承認いただき、午後に式典となりました。

第一部として献堂の礼拝、皆でアメージンググレースを讃美した後、インマヌエル甲府教会の岡信男牧師から、ホールの名前の由来となった創世記のベテル(神の家)のお話を聞きました。その後、野々垣健五理事長から建設経過の報告と関係者への感謝状贈呈。建設関係では(株)山市成工社長遠藤恭範様、(株)依田建設社長の依田友紀様、さとう建築事務所の佐藤重良様、そして設計を担当された(株)エヌプラン代表の奈良田和也様が表彰されました。また移転地選定において貴重なアドバイスをいただいた甲府ワイズで市議会議員の金丸さぶろう様、さらに多額のご寄付を賜りましたNPO法人山梨ホスピス協会名誉理事長の横山宏様、以上6名の皆様です。

続いて第二部として75周年記念式典です。県知事代理の成島春仁保健福祉部長、樋口雄一甲府市長、田口努日本YMCA同盟総主事の3名からご祝辞を頂戴しました。

その後75周年を振り返る時として、まずは大澤祥子様に昨年天に召された大澤英二様と共に過ごしたYMCAでの60年についてメッセージをいただきました。

続いてその後の事業展開の様子を紹介するスライドショーをご覧いただきました。また、4名の方が会員継続25年の表彰を受けましたが、そのうち3名は甲府ワイズからで、石原基平様、金丸さぶろう様、仙洞田安宏様です。そしてメモリアルアワー、60周年以後に亡くなったワイズメン10名を含む関係者16名が順に紹介されました。一人ひとり正面スクリーンに映し出される在りし日のお姿に目を潤ませる方も多く見られました。

会場参加者60名に加えて、40名のリモート参加者に見守られての不慣れなハイブリッド方式の試みで、ハラハラドキドキの展開でした。もう少しで6千万になる募金を含めて、全ての面において、神様と皆様に愛され、支えられている山梨YMCAを感じられる和やかな時間となりました。皆様、今年一年は75周年イヤーとして覚えていただければ幸いです。